

科目名 Subject	ネイル技術Ⅰ Nail TechniquesⅠ			教員名	ネイルチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	健康で美しい爪を維持するためのネイルケアやネイルアートに関する基本的な技術の理論と技能を学ぶ。 ネイルに関する検定の取得も視野に入れる。 ハンドトリートメント技術をとおして他者への配慮を意識しながら実践する。 関連科目としてネイルアートやカラーリングにおいては色彩に関する科目の他「メイクアップⅠ」の学習、ネイル溶剤等においては「香粧品学」を学ぶことが望ましい。					
授業方法	授業は対面で行う。ただし、状況次第でZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業に切り替えることや、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	ネイルケアの実践をとおして爪に関する美学を研究し、老若男女問わず健康で美しい爪を維持するための正しい知識と技術を身につけることができる。 ネイルケアとカラーリングの基礎的な技術を適正な手順で、他者の爪の状態を分析して実践できるようになる。 爪のトラブルに対してどのように対応したらよいかを見極め、さらに衛生面に配慮しながら他者へハンドトリートメントを行うことができるようになる。					
時間外学習（予習・復習）	ネイルの資格取得にあたり、授業以外においても各自で反復練習を行うこと。予習としてテキストの内容を確認する。ネイルケア技術においては1回につき60分～90分程度の復習を行なうことが望ましい。					
教科書・教材	教科書	発行：NPO法人日本ネイリスト協会（2020年）『JNAテクニカルシステムBASIC 第3版』				
	教材	配付教材は別紙参照 ＊授業初回で配付します				
	使用設備・備品					
	参考文献	（株）インターメディカル（2011年）『ネイル・プロフェッショナル 第4版』				
評価方法	授業内での制作課題20%、筆記試験40%・実技試験40% 筆記試験は主に授業で配付するテキストより出題します。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業の実習について開講期間中はナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してきてください。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。実技はプラクティスハンドと自爪で行います。毎回マスクを着用してください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	JNEC ネイリスト技能検定3級				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション 道具器具の説明 テーブルセッティング 「ネイルの歴史」「ネイルの技術体系」	道具、器具の役割に沿って道具を配置することができる。	復習として、扱う器具の役割と特徴の復習を行う（60分程度）
第 2 回	カウンセリング ポリッシュリムーブ 「爪の構造と働き」 ファイリング	テーブルセッティング、消毒、ポリッシュリムーブまで実践することができる。	爪の構造と特徴を覚える（60分程度）
第 3 回	ファイリングの復習 クリーンナップ 「爪の病気とトラブル」	爪の形状を考えて整えることができる。	復習として消毒からファイリングまでの技術を実践する。（60分～）
第 4 回	ニッパーの扱い方 「消毒法」	ニッパーを正しく持つことができる。 道具や器具をを衛生的に扱うことができる。	理論「消毒法」「爪の色調異常、爪の病気」を復習して暗記する（60分以上）
第 5 回	ネイルケアの手順の確認	これまでの実習内容を振り返り、ネイルケアの技術を手順に従って実践することができる。	ニッパーの扱い方に注意して、ネイルケア技術を30分目安で実践する。（60分～）
第 6 回	テーブルセッティング（10分） ネイルケア（30分）	時間内に作業を終えることができる。	10指のバランスを考えてネイルケア技術の練習を行う。（60分～）
第 7 回	実技チェック テーブルセッティング～ネイルケアまで	道具、器具を衛生的に扱うことができる。 爪の長さや形状を見極めて時間内に作業を終えることができる。	復習として時間に確実に収まるように反復練習を行う（60分～）
第 8 回	ハンドトリートメント 「ネイルのための生理解剖」 「化粧品学」	爪の状態を分析しながらハンドトリートメントを実践することができる。	復習としてハンドトリートメントの手順を覚え反復練習を行う（30分～）
第 9 回	カラーリング 「色彩理論」	ネイルカラーをムラなく塗布することができる。	カラーリングの実践（60分程度）
第 10 回	カラーリング ネイルアート 「アートのテーマ：フラワー」	カラーリングから修正まで行うことができる。 アクリル絵の具を使用してネイルチップにアートを描くことができる。	予習としてアートのテーマの沿ったデザインを考えてくる。（60分） ＊ネイルアートのベースカラーは「マットな赤」とする。
第 11 回	消毒から開始し、ネイルケアからカラーリングまで60分で計測する。アートはネイルチップに施す。	JNEC3級の技術内容に沿って、正しい動作で技術を行うことができる。	消毒からカラーリングまでの技術を時間を意識しながら実践する。（60～90分程度）＊ネイルチップのアート作品の提出
第 12 回	消毒から開始し、ネイルケアからカラーリングまで60分で計測する。アートはネイルチップに施す。	時間内に作業を終えることができる。	消毒からカラーリングまでの技術を時間内に収められるように、各自で練習を行う。（60～90分程度）
第 13 回	チップラップ① プラクティスハンドの爪に装着する	人工爪の一種であるチップラップの道具を正しく扱うことができる。	復習として材料の役割、扱い方を覚える。（30分～） 予習としてチップラップの手順を覚えてくる（30分～）
第 14 回	チップラップ② 自分の爪に装着する	人工爪の一種であるチップラップの表面、先端を滑らかに整えることができる。 長さでバランスを考えて制作することができる。	理論のまとめとして、特に「爪の構造と働き」を復習して暗記する。（60分～）
第 15 回	まとめ 消毒～カラーリングまで	他者の気持ちに配慮して、10指のバランスを考えながら、ネイルケアからカラーリングまで実践することができる。	様々な爪の状態に対応できるように「爪の色調異常と爪の病気」について再度復習する。（60分～）